

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報										整理番号	071							
事務事業名	道路維持事業費			補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	08	項	02	目	02	事業	01
担当部	都市建設部	担当課	道路課	担当係	維持	係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称: )				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 道路法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: )												

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か?→ ②一方で、「現状や課題」はどのようなか?→ ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	簡易な舗装・砕石補修や除草については直営により対応している。幹線道路、通学路、農道、側溝など様々な補修の要望が多数寄せられており、危険度や交通量などを勘案して工事箇所の選定をしているが、要望数に対応が追いついていないのが実情。										誰・何を対象に	市が管理する道路									
											どのような方法・手順で	市民からの情報提供や道路パトロールにより、市道の維持補修や通行の支障となる道路脇の除草などの業務委託を行うほか、直営補修のための原材料購入、市民がボランティアで行う除草作業等に対し補助金を交付するなどして、維持補修業務を円滑に遂行する。									
											望ましい状態	道路インフラの維持補修は市民生活の安全安心に直結する内容であるため、不具合箇所等の把握から解消までの作業を速やかに行うことで、安全で快適な道路環境を提供できる状態。									

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	維持補修発注件数	単位	件	目標値	230	目標年次	2021	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	維持補修については、工事発注件数が当該年度の成果と言えるが、件数は1件当たりの発注金額の増減や気象条件等にも左右されることからあくまで参考値としたい。目標値は直近5年間で一番工事の発注件数が多い平成27年度を基準に設定する。									

4 事務事業の実績 ①										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																		
年度	平成28年度					平成29年度					平成30年度																	
	業務名					業務名					業務名																	
事務事業を構成する主な業務	① 除草等業務委託	32件	① 除草等業務委託	35件	① 除草等業務委託	32件	② 浚渫業務委託	6件	② 浚渫業務委託	17件	② 業務管理委託	19件	③ 測量設計委託	15件	③ 測量設計委託	11件	③ 測量設計委託	13件	④ 測量設計委託	22件	④ 測量設計委託	16件	④ 緊急時道路維持管理業務委託	41件				
	⑤ 緊急時道路維持管理業務委託	38件	⑤ 緊急時道路維持管理業務委託	21件	⑤ 維持補修工事	146件	⑥ 維持補修工事	215件	⑥ 維持補修工事	233件	⑥ 原材料調達	22件	⑦ 原材料調達	31件	⑦ 原材料調達	30件	⑦ ふるさと愛護活動補助金助成	8件	⑧ 直営作業(舗装・砕石補修、除草、融雪剤散布等)	-	⑧ 直営作業(舗装・砕石補修、除草、融雪剤散布等)	-	⑨	-				
	⑧ 直営作業(舗装・砕石補修、除草、融雪剤散布等)	-	⑧ 直営作業(舗装・砕石補修、除草、融雪剤散布等)	-	⑨	-	⑩	-	⑩	-	⑩	-	⑪	-	⑪	-	⑪	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-				
	⑩	-	⑩	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-	⑫	-				
	目標値に対する実績値					215	件	目標値に対する実績値					233	件	目標値に対する実績値					146	件							
	決算額	248,646,594	円	内訳	特定財源		円	計	269,690,339	円	内訳	特定財源		円	計	211,654,420	円	内訳	特定財源	52,430,000	円	計	159,224,420	円	内訳	一般財源	159,224,420	円
		(住民一人あたりの行政コスト)					4,089	円	(住民一人あたりの行政コスト)					4,461	円	(住民一人あたりの行政コスト)					3,528	円						

5 担当者評価 ③										実施したことによる成果や問題点を記入してください。											
成果	ほぼ目標どおり										成果内容	維持補修の発注件数については、目標値の64%程度にとどまっているが、前年比68%の予算額に比例した数値となるため、実質的な目標はほぼ達成したものと判断する。									
問題点											問題点	幹線道路、通学路、農道、側溝など多岐に渡る補修要望があり、工事は危険度等を勘案して対応しているが、従前より補修要望のある箇所が後回しになるなど、優先順位を定めても計画通りに進めることが難しいケースが多い。また、ふるさと愛護活動補助金については、広報お知らせ版での周知も行ったが、除草等に対するボランティア意識が低く、例年実施している団体以外の申請が伸びていない状態。									

6 担当部長及び担当課長評価 ③										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。										
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由	市道の総延長は1,481kmで4,868路線あり、舗装率68.4%となっている。また、圏央道を始め西幹線の供用等により以前よりも交通量の増加・老朽化により破損の著しい舗装・排水施設等の修繕を実施し、交通安全確保を継続的に管理する必要があるため、事業箇所及び予算の拡充が必要である。																			

7 実施計画 ⑥										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度								
事業内容	補修箇所の把握(情報提供・道路パトロール)・調査					補修箇所の把握(情報提供・道路パトロール)・調査					補修箇所の把握(情報提供・道路パトロール)・調査								
	↓					↓					↓								
	補修の規模により見積徴収又は設計委託					補修の規模により見積徴収又は設計委託					補修の規模により見積徴収又は設計委託								
	↓					↓					↓								
随意契約又は入札により工事を実施					随意契約又は入札により工事を実施					随意契約又は入札により工事を実施									
↓					↓					↓									
安全で快適な道路環境の提供					安全で快適な道路環境の提供					安全で快適な道路環境の提供									
①市民からの要望・相談、道路パトロール等により、道路補修が必要な箇所を調査。 ②小規模なものについては工事業者からの見積により工事を発注、大規模なものは実施設計を委託し、入札により工事を発注する。					①市民からの要望・相談、道路パトロール等により、道路補修が必要な箇所を調査。 ②小規模なものについては工事業者からの見積により工事を発注、大規模なものは実施設計を委託し、入札により工事を発注する。					①市民からの要望・相談、道路パトロール等により、道路補修が必要な箇所を調査。 ②小規模なものについては工事業者からの見積により工事を発注、大規模なものは実施設計を委託し、入札により工事を発注する。									

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額以下の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。道路の維持管理は市民生活に直結するため拡充もやむを得ない。補修箇所の把握はパトロールだけでは十分ではないため、行政だけでなく市民の力を借りる方法も検討して欲しい。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ③										
事務事業の方向性										
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由	道路インフラの維持は安全安心な市民生活に直結することから、市民の要望に最大限応えるべき。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ④										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。														
事業内容	補修箇所等の把握から解消までの作業を速やかに行い安全で快適な道路環境を提供する。毎年度のことであるが、維持補修工事については補正予算を組んで対応している状況である。また、緊急時道路維持管理業務委託に関しては、今年度については、台風15号、及び19号による被害対応で、すでに大幅に予算を超えている。今後見込まれる除雪等も踏まえると拡充せざるを得ないのは明らかである。台風の大型化接近回数増加、局地的豪雨による被害の増加が懸念される昨今、予算を大幅に拡充していきたい。さらに、ふるさと愛護活動補助金助成制度については、毎年申請数が増加しており、現時点で97%の消化率となっているため、拡充していきたい。																							
成果指標	指標名	維持補修発注件数	単位	件	目標値	230	指標名	維持補修発注件数	単位	件	目標値	230	指標名	維持補修発注件数	単位	件	目標値	230						
予算額	歳出	計	215,083					千円	歳出	計	182,220					千円	歳出	計	294,526					千円
		特定財源	70,800					千円		特定財源	121,300					千円		特定財源	57,000					千円
	歳入	一般財源	144,283					千円	歳入	一般財源	60,920					千円	歳入	一般財源	237,526					千円
		計	215,083					千円		計	182,220					千円		計	294,526					千円